

# 若一青年部

今から30数年前、第2次ベビーブームの頃、若葉一丁目のお父さん、お母さんから地域の子供たち（田舎のない子供たち）のために何かできないかという声が上がりました。4年ほどかかりましたが、石切横丁の堤さんを中心に40名近くの賛同の署名が集まり、昭和58年に若一青年会が発足しました。町会の枠を超えても地域の子供達のために夏休みの思い出をプレゼントしようという気持からのスタートでした。やがてその規模は旧四谷第一小学校の校庭に600名を集めるほど大きな行事となりました。会員数も80名を超え、新宿区でも一番大きな団体であるとも言われました。しかし、その年代の子供たちが中学、高校へと成長してゆく中、地域の子供の数も減少し、小、中学校の統廃合等、地域においても少子高齢化が急速に進みました。そんな危機感から平成12年に有志が集まり、『若美会』へと会名を改め、地域の繋がりを大切にする親睦団体として生まれ変わりました。活動は低迷してましたが、ここ数年、地元の祭りへの関心も高まり、多くの子供達、新たに若一に住まわれた若い方々の参加が増えてきました。これを機会に青年会の活動を活発にしようと平成24年に役員を改選し、『若葉一丁目青年会』として再スタートを切りました。更に平成25年度より一層の若返りを図るべく地元の青年を中心とした町会組織、『若葉一丁目青年部』として活動を開始いたしました。パワーアップした若一青年部を引き続き応援して下さい。

若一青年部

部長 横山慎一

